

## 令和3年度に向けた取組について（予定）

### (1) 市町村等との連携強化

#### ア 総合調整会議の開催

・多文化共生の地域社会づくりの一環として地域日本語教育を推進していくための、専門家等から助言の聴取及び協議。

・専門委員会を通じた個別事業に対する助言の聴取。

※ R2年度 総合調整会議 1回

R2年度 専門委員会 3回

#### イ 市町村等連絡調整会議の開催

・市町村等が地域の日本語教育について意見交換し、また、地域日本語教育の新たな取組みや工夫などを共有。

・市町村の日本語教育担当者向けの研修。

※ R2年度 市町村等連絡調整会議 3回

#### ウ コーディネーターの配置による県内の地域日本語教育の推進

・県の地域日本語教育に関わる事業全体の総括を行うコーディネーターの配置

・県域や地域のニーズや実情に応じたプログラムの企画、調整等を行う地域日本語教育のコーディネーターの配置。

※ R2年度 総括コーディネーター 1名

R2年度 地域日本語教育コーディネーター 3名

#### エ 【市町村支援】日本語教育に対するニーズ調査

今後の市町村における日本語教育事業の必要性を検討するためのニーズ調査。

※ R2年度 未実施

### (2) 専門家による日本語講座促進

#### ア 【県実施】専門家による初心者向け日本語講座

日本語初心者である外国籍県民等を対象に、モデル事業として将来的に市町村でも実施可能となるような、体系的な初心者向けの日本語指導・生活オリエンテーション等を組み込んだ日本語講座。

※ R2年度 全20回×2レベル、定員20名

#### イ 【市町村支援】専門家による日本語講座の開設・運営改善等

日本語を学習したい外国籍県民等（日本語初心者に限らず）を対象とした、地域の実情に応じた市町村主催型講座の開設・運営改善等に対し、講座の「企画、カリキュラム作成」「実施運営」等を支援。

※ R2年度未実施

### **(3) 人材育成・ネットワークづくり支援**

#### **ア 日本語学習支援実践者（リーダー的人材）研修**

日本語教室をよりよい形で継続、発展させるため、地域における日本語教室の実践者（リーダー的人材）等を対象とした研修を通じて、教室間、地域間のネットワークづくりを支援。

※ R2年度 2回

#### **イ 【市町村支援】日本語学習支援者（ボランティア）の養成・研修**

市町村が自立して講座の継続実施ができるよう、市町村・市町村国際交流協会が実施する日本語ボランティア養成及び実践者研修等に対し、プログラム提供・講師派遣等を支援。

※ R2年度 未実施

### **(4) 地域日本語教育情報提供**

#### **ア 情報提供・相談対応**

- ・ 外国籍県民等や日本語学習支援者等を対象に、電話や来所による、日本語学習に係る事業の情報提供
- ・ 日本語教室の運営に関する相談対応
- ・ 外国人コミュニティや日本語ボランティア団体等を対象とした、アウトリーチによる日本語学習相談

#### **イ 日本語教材や日本語教室情報等の発信**

外国人住民や日本語学習支援者等を対象に、県内の日本語教室、ICT教材を含む日本語学習教材情報等を SNS（財団 HP、フェイスブック）や発行物等を通じて発信。

#### **ウ 日本語学習支援者フォーラム**

地域日本語教育に関する基本的な理解や関心を持ってもらうことを目的としたフォーラム。

※ R2年度 1回

- \* この他、国と連携した市町村への財政的支援（各地域の実情に応じた日本語教育の実施、ボランティアによる日本語教室への支援等）を検討中

（注）今後の予算調整を経て、最終的に決定されます。